

愛

玩

玩賞用異族

有害菌類侵入 母娘幼奴妹

又



R-18

成人向け

18歳未満閲覧禁止

愛玩幼奴。





レモン
手伝って

はい



ご主人様
朝から元気ですね

ははは

アタシが帰ってきたか
までどう処理しましたか



そんなことない
我慢すぎるの良くないって
みんな言ってるでしょ

アタシはこれでご主人様に
肉欲をさせすぎますか

キミが帰ってきたまで
我慢に我慢しかなかったさ



ご主人様の役にたつて
本当にうれしいですふうん

そっなんだ

レモンが帰ってきてから
毎日清々しいさ



レモン……

……

うん続けますか

これから数日間いないからさ
だから……

思いっきり
甘えてください

んんん

んんん

はっはっ

おお

づんキツイ柔らかい

ぎゃああ
ご主人様

竿を吸い付くドスケベ
マ●コ最高

やだ
言わないで
ご主人様





パチッパチッ

あ

ん

うお 絡んできた

ん

あ

パチッ
パチッ
パチッ

びん

やああ 出しました

レモン

ぐうん

ぼ坊っちゃま

びん

びん

びん

びん

びん

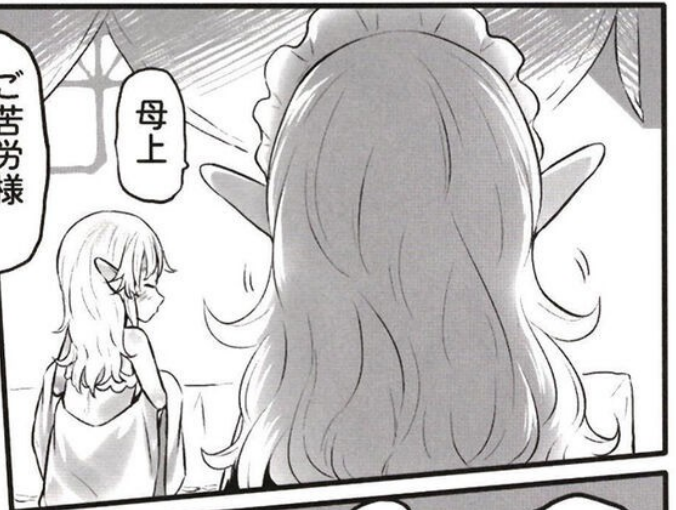


ご主人の役に立つだけで満足です
夜のお相手など望みません

いえ

ご苦労様
カプチーナ

あらあら
自信を持って



母上



ご主人様はあなたが妹だから
手出しできないだけ

でも

血縁関係のないからこそ
可憐な妹に
心を奪われることさ

ご主人様にうちの魅力を
気づいてもらいましょう



そうですね

これからも頑張って

その通りよ



頑張って



旦那様も
そう期待してるから
頑張りましょう

はい
母上

あのアホなご主人は
いつ気づくのでしょうか
はあ...

ご主人様の悪口は
ダメですよ

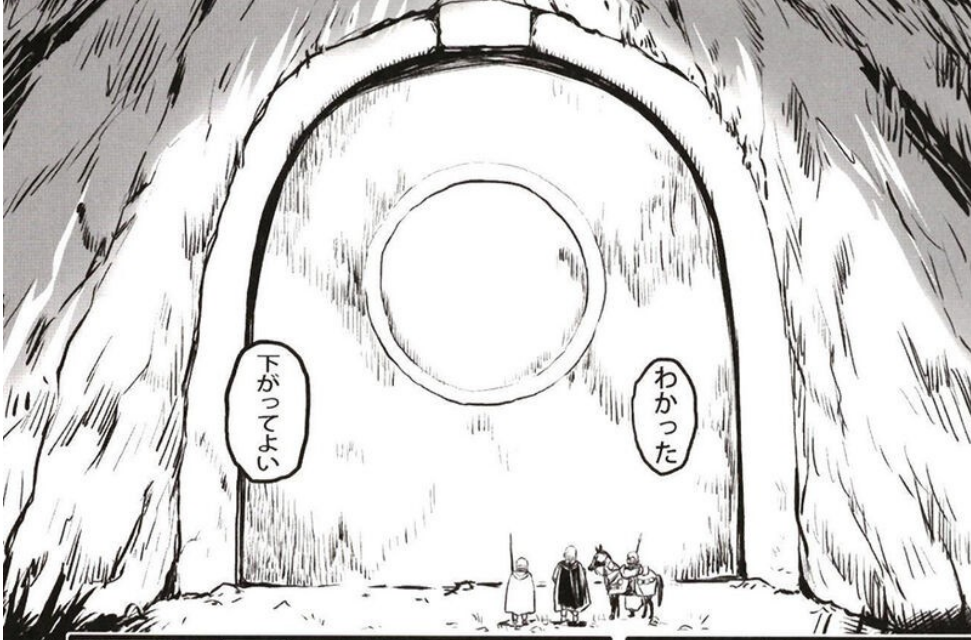
うっ...



大公様

お客さんがいらつしゃいました

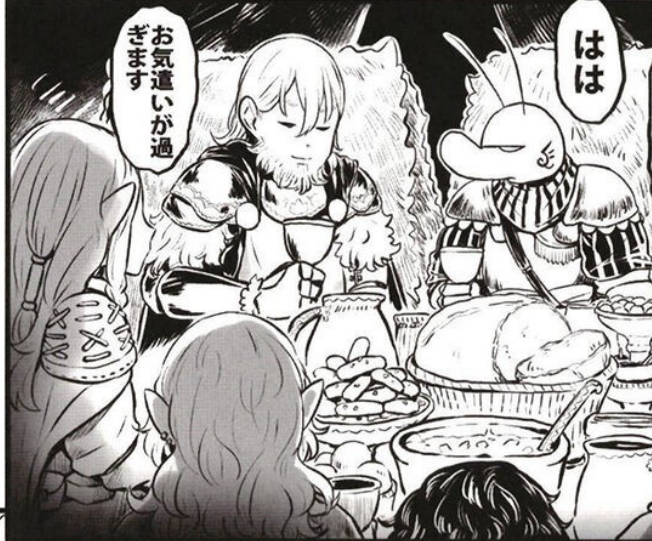
...



わかった

下がってよ

何度も申し上げましたが皆様のご協力に感謝しております



はは

お氣遣いが過ぎます



お知らせがなければ山にあんなものが封印されていることはわからないはずだ

彼が山壁を掘り進んで外に出たら我々はもうおしまいだ



古代洞窟王国のエネルギー源生命を操る悪果マグマヒドラ

滅びた国なのに乱雑な後始末を数百年後の僕らにさせるなんてもう何も言う余地がない



対戦の準備を先頭に立って行つてくださったって本当にありがたいです人間としては容易ではありません

身に余る言葉だ

貴族としての責任を果たすだけだ
はははは



うんんんんんんんんんん

ぐうんんんんんんんんんん
んんんんんんんんんん



うんんんん



できませんよ



宮廷魔法使いとして
何か考えないか?
この怠け者のくそ野郎め

大公様

おやおや力入れすぎると
壊れちゃったら
話にならないぞ



製作者だっと思ってなかったでしょ
英雄の子孫が害になり英雄の血が
鍵を使えなくなるほど薄まるまで
数百年も放置するなんて

あの山門の鍵には魔法術式がある
英雄の血を持つ者そして英雄と血縁の
近い人だけが自由に使えるんだ
貴様はどう頑張ってもムダだ

言ってみました

はあめんどくさい



簡単に見つかるなら
悩む必要がないでしょう

はあああ
古代英雄の血統を持つ人って
どこから見つかるん
だろう



魔法で山門を爆発すれば
もう戻る道はないんだぞ

ええ

ご…お兄様こんなに綺麗な服
本当にウチにくれるんですか

こんなに貴重な贈り物
贅沢しすぎますよ

お兄ちゃんと呼んで

お兄ちゃん様

贅沢なんて言わないで
カプチーナは国境大公
カルロス家の姫だから
メイド服だけじゃダメよ

そして異族にこの華麗な
衣服を注文することで
貿易の絆を深められる
いい機会でもある

んなにこれ

リボン
みたい

つけてあげようか
カプチーナ

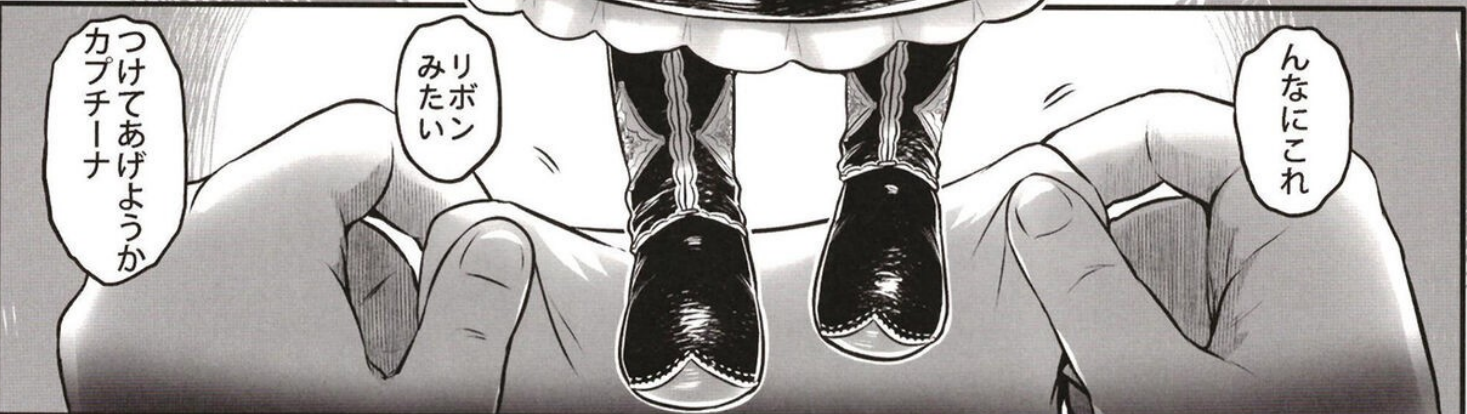
うんちよ、ごい
よしよし

今はタイミングが
良くない

しばらくしたら君を
ちゃんと貴族たちに紹介する
きちんと身支度してな

はい

え





だダメだ妹だぞ
邪念を持つっちゃダメ

おんん

この金髪はなんで
こんなにいい匂いなの



お願いします
お兄ちゃん

おんん

直接太ももに座ってきた
かわいいな体が軽いし
お尻も柔らかくていい匂い

ポニーテール
にしようか

はい



できたよ
カプチーナ

うんん



硬っ

やべっ

き気づいて
ないよな

お兄ちゃん



大好きだよ
いい子の妹カプチーナ

うちお兄ちゃんが大好きなの
お兄ちゃんはうちにも
愛がありますか

ち違いますよ
うんん

ああ



あらら今日は
いつもより元気ですね

どうしましたか

うん
……

ご主人様今日
手伝って

まっそれもいい

なにを

ええええ
カプチーナ

な何の音
誰かいますか

母上

この子もそろそろ夜ときの
練習どころです
だから呼んできました

安心して耳が塞がってるので
見えも聞こえもしません

なにに夜ときの練習って
しかも私が……
一体何やってんの

何言ってるの!
ダメに決まっ
てんだらう

えでは他の人に
手伝って頂きます

前はデイルドで練習
してるけどここには
ありませんから

あの子は早くこれらを
熟知したら旦那を縛れるから
ご主人様は手伝って

それともあの子
好きじゃないんですか
そうでしたら……

もちろん
好きなの

よかったです

教えたのまんまで
すればいい

はい

でも母上
今回のデイルドは
動物の匂いがします

気にするな

うん

……



ぺうん



よろしく
お願いします



あったかい



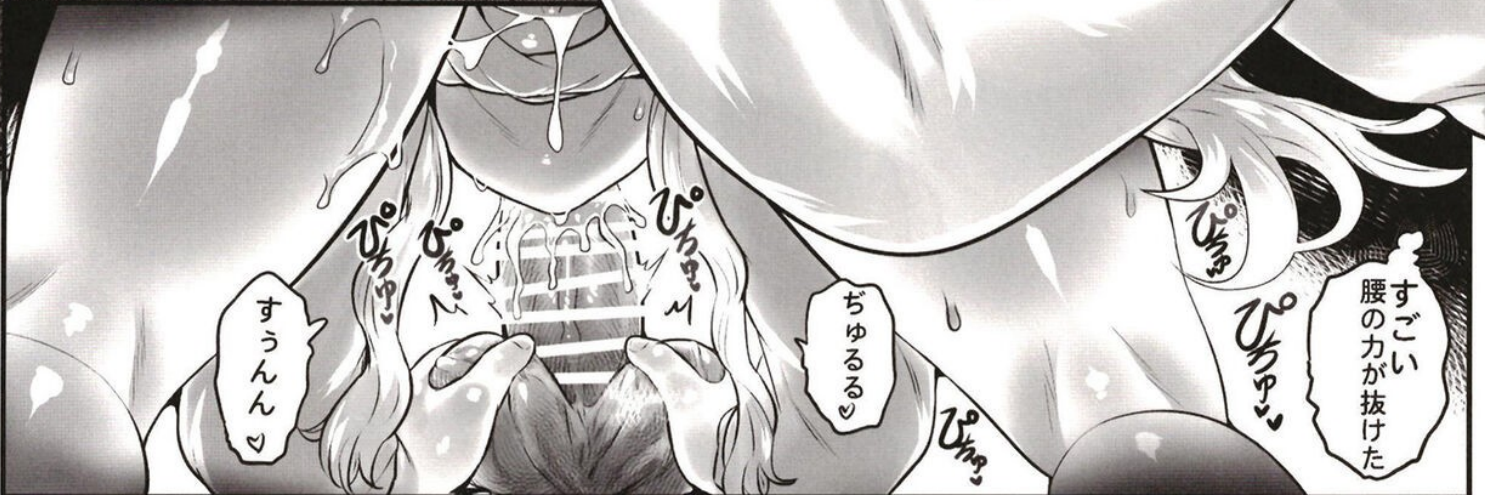
やばいぞ
これ

ぐああ

ふうん

柔らかい小さな手の
摩擦が気持ち良すぎ

妹に竿を弄られるだけでもう
やばいののにこの子の技術
レモンに負けないいい



はうんぐ

んんん

うおお
気持ちよすぎ

この子純粹に見えるけど
竿を弄る技術がこんなに
優れているなんて

すごい
腰の力が抜けた

すうんん

ちゅるる

ひあな
なに

うん

どろ!!

ゲ
ホッ
んん
はあ
あ

どろ
ろろ

びゅん
びゅん

なん
か
出
て
き
ま
し
た
が
ひ
い
ん
す
ご
い
変
な
も
の
が

ぐ
べ
た
べ
た

エ
ロ
い
な

飲
み
ず
ら
い
で
す
母
上

栄
養
た
つ
ぶ
り

一
休
ん
で
ね

よ
く
で
き
た
飲
み
込
ん
で
も
い
い
の

う
ん
ご
く
り

ん



よしご主人様

君たちは一体
プライベートで
なにを学んでるの

ううこんなこととして
私は今後どうあの子を
接したらいいか

アタシたちが学んでる全てが
ご主人様の奉仕のためです

ご主人様が望んでれば
あの子も喜んで体を
献上しますよ

あの子を連れてきたのは
こんなことのためじゃない

あら惜しいですね

手伝わされて

お返しは
取るべきよな

あ

ご主人様

今夜は
寝かせないぞ

だダメです
ご主人様





こんな舐めてちゃダメですご主人様♡

んっん

いっけいっけ

ひい

あん♡



ん♡

ん♡
そんな舐めて楽しいですか

レモンのマ●コ
いっけいっけ

花の香りと女の体の香りが混せておいしい

あ♡

んん♡

ふうん

ひい



この舐め方って変態な感じですよ主人様
あそこダメです

レモンも好きなのにな

やだ

ん

言わないで

ん

あだダメです

自分だけ気持ちよくするなんて

ご主人様
アタシにも
ご奉仕させて

大丈夫さ
んぐんぐ

うう

ご主人様普段は大変疲れて
夜は横になって
楽しめばいいです

うん

ふんあああ
手離して

アタシにはアタシの
こだわりがありますの

大丈夫っつの

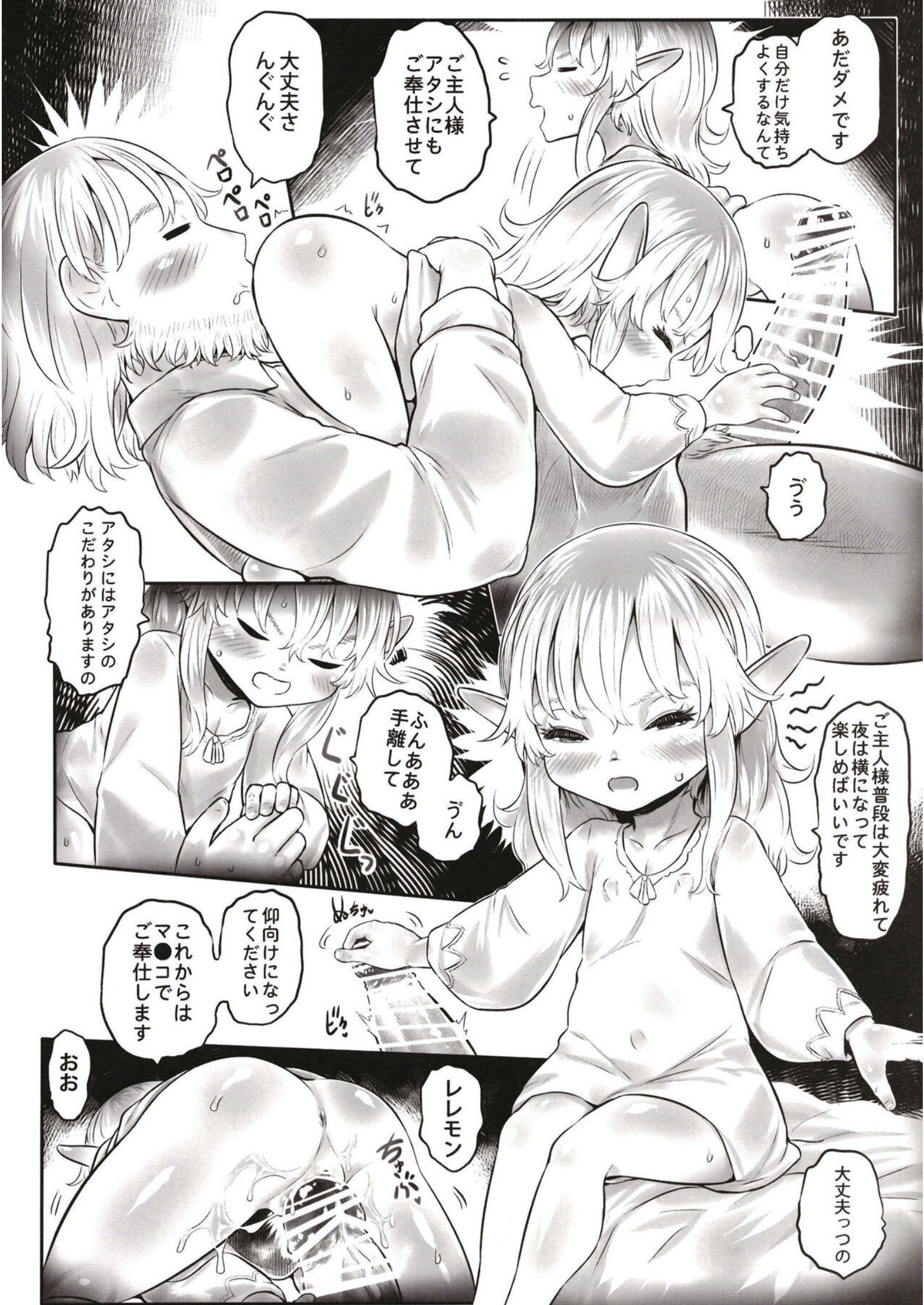
仰向けになっ
てください

これからは
マ●コで
ご奉仕します

レレモン

おお

ちゅぱ



ご主人様

あやっ

レモンの体を
ご堪能ください

ひあ♡

あやっ

うおおお

ああ硬くて熱いです
お腹を見てください
ご主人様のでぽっこり

おおレモン
エロすぎ

あ♡

中の隅から隅まで
ご主人に満たされる

はっ♡

はー

はあ♡

あやっ

あやっ

あやっ

あやっ

あやっ



これでマ●コ全体が
た楽しめる

あ♡ あきもちい
ひああ

ん♡

はあ♡

んあ♡

ほ坊っちやま♡



あ

待って

ひい

ん♡

私が代わりに
レモン
に動くよ

ああこんな
お手数かけちゃダメ♡



あだダメ
抱っこして入れちゃ
ダメです
ほ坊っちやま♡

レモン



ああ一番
奥まで突いた

レモン

坊っち
やま

もうイキ
そうです
ひああ

おおお

あ♡

お兄
ちゃん♡



ん♡

お兄ちゃん♡

ウチもほしい

お兄ちゃん
の可愛がり

あん♡

そこ♡

お兄ちゃん
に弄られたい

敏感なところ♡



んああ♡

はあ♡

ん♡

ふん

お兄ちゃん♡

ん♡

ん♡

ああ♡



はあ♡

はあ♡

はあ♡

うん♡

ウチは本当に使えない♡はあ

はあ♡



あ♡

おおお
レレモン

ああ坊っちゃん♡♡

ドビュッ♡ ビュッ♡



ぎいあああ
んんああ♡♡



ああ

ぱあが



あれ

全く
ちやんと閉めて
なかったのか



はは

はああお腹の中
ベタベタなのよ

あら

扉が開いてるね



ゲホッ

……



……

なんでもありません
ご主人様

どうしたレモン
もう一回しようか



貴様の妹でなければ
ご主人様は彼女に
手を出しますか

いい子なのだ
どうしたの
いきなり彼女のことを

あら

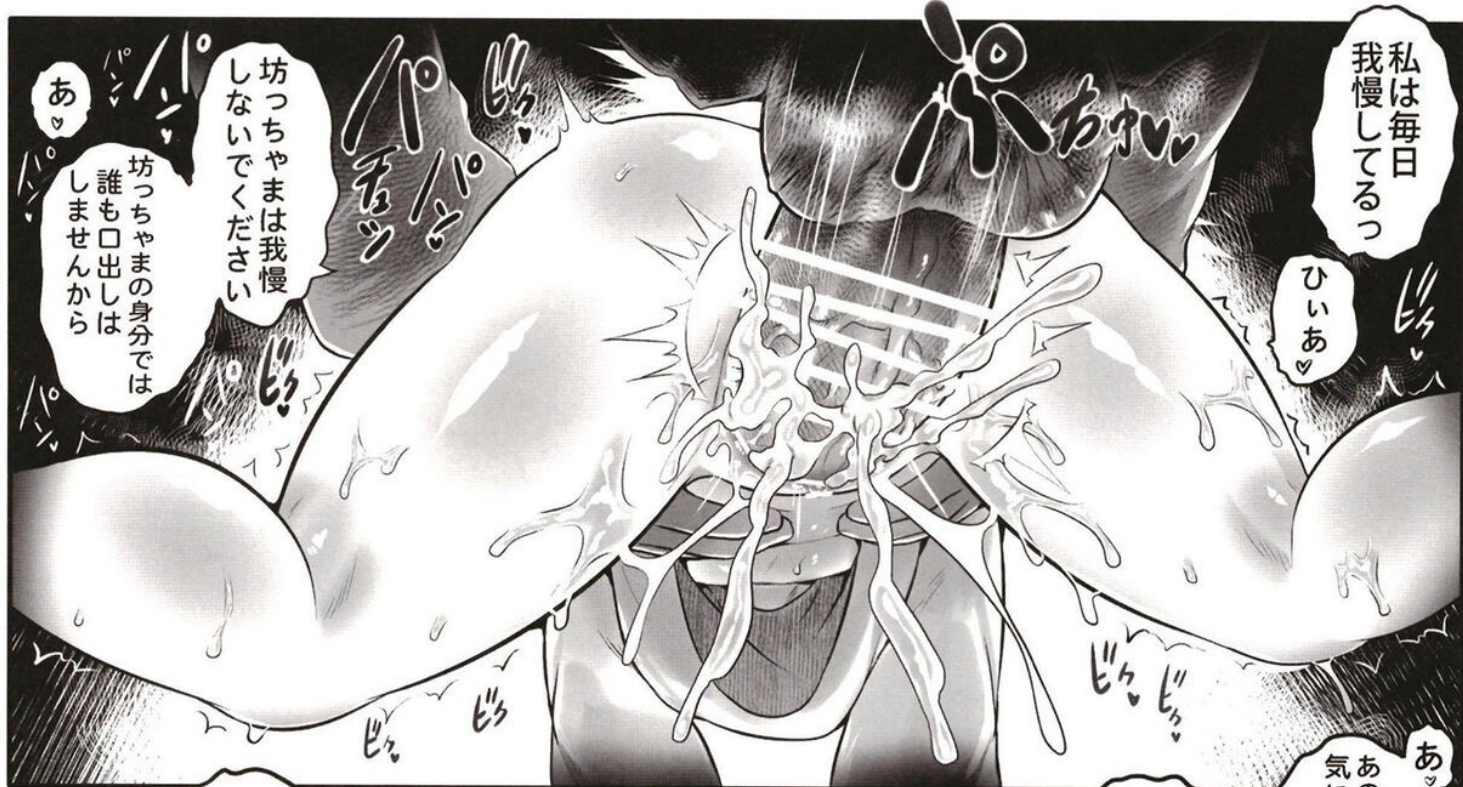
そう言えばご主人様は
カプチーナのことを
どう思いますか

あの子は私の妹だ
お父様と君の娘だ
手を出したらやばいから

びく

びく

びく



私は毎日
我慢してるっ

ひいあ

坊っちゃん
は我慢
しないでください

あ
坊っちゃん
の身分では
誰も口出しは
しませんから



あ
あの子もああいうのを
気にしませんよ

ダメだ洞窟の怪物と
対抗する時に
命を失うかもしれん

いい男を見つけて
妹を託さなきゃ

あ
一緒に過ごす時間は
少ないけどカプチーナは
私のかけがえのない

最愛な妹なんだ



あ
ほ坊っちゃん

あ

その責任を
置いといたら

もちろん押し倒して
毎日枯れるほど彼女の
中に出して

カプチーナと十数人もの
子供を作りたい
おおおお

坊っちゃん

お兄ちゃん

あ



おおおお

ああ熱いよ坊っちゃん

ひゃあ

あ

あ

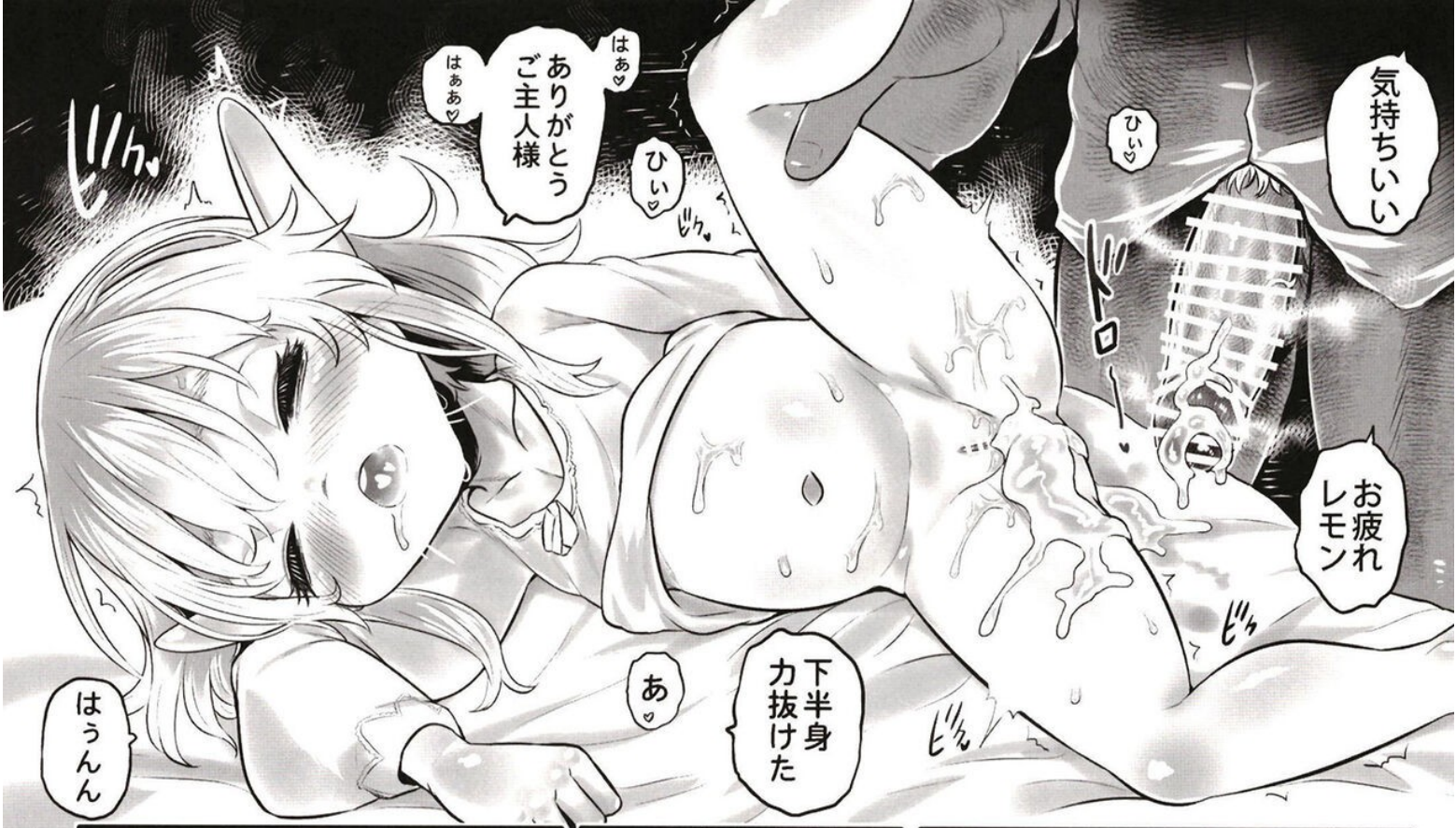


はあ
坊っちゃん

はあ

気持ち良すぎ

はは



はあ♡
ありがとうございます
ご主人様
はあ♡♡

気持ちいい

お疲れ
レモン

下半身
力抜けた

はうん



...



...



寝るぞ

ふうん

おやすみ

ふうん

かわいい
坊っちゃん



ありがとうございます
ございます

どうもカプチーナ
君がいれば安心だな

ご安心ください
しっかりと留守番をしますよ
はい資料です



よし
ご主人様

うん

国王に会いに行く
この数日家のことは
頼むぞ



ご主人様



うん今回多くの貴族と会うのね

カプチーナの旦那を物色もしようか

ええ

カルロス家の姫はきつと最高な男を見つける



一つはつきりと言われてください
ウチは自分の身分が奴隷か
貴族かは気にしていません

あ

ご主人様がどう考えるであれ
ウチにとって最大の幸せはこ
ご主人のそばで奉仕をするこ
とです

貴方の身分は主人であれ
お兄ちゃんであれウチカプチーナは
ご主人様の傍にしかいたくありません
ウチの愛ウチの体はご主人様だけのもの

真剣に
見てください



レモン

全部知ってるの

さあ

あの子はご主人様と
同じく
頑固な性格ですね まったく



待って
カプチーナ

私私……ちよこ

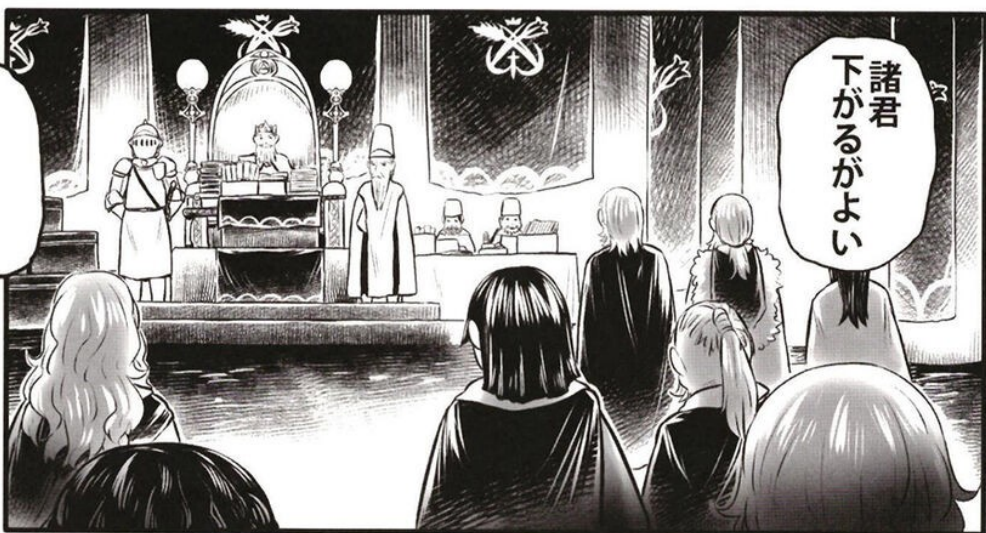
カプチーナ



御意

カルロス卿

後で余のところに来なさい



諸君
下がるがよい



君に大公爵の地位を
与える価値はあった
というわけだ

領土を支配しつつ
伝説の魔物と戦い備え



君の報告によれば
準備はほぼ整っているか

はい



父上のやり方で門を
爆破し騎士を突撃させる
よりもずっと優れていた
ようですね

しかし異族を雇って城壁や
水路を建設するなんて
君にしかできないことだったな



あら

ほうそうか
興味深い噂を
耳にしたのだが

なぜ君の兄であり
国王でもある朕に
言っていないのか

微臣には受け
入れがたい
ご厚意です

朕も君にたくさん姫を
紹介しようとしたのに
全部断られて
しまったのだが

そういえば伝説の魔物を
討伐する前に
子孫を残すべきのでは



かわいい異族女の子との結婚を控えた大イベントのことをなぜ兄に話さなかったか
はあ？弟ヴィルよ

キミってやつは俺をこんなに長く心配させて何度も拒否してまさかあんなの好きなのか
非凡な品だ

騎士達が言ってたか説明させてくれ

羨ましいぞ

そっちか

待って



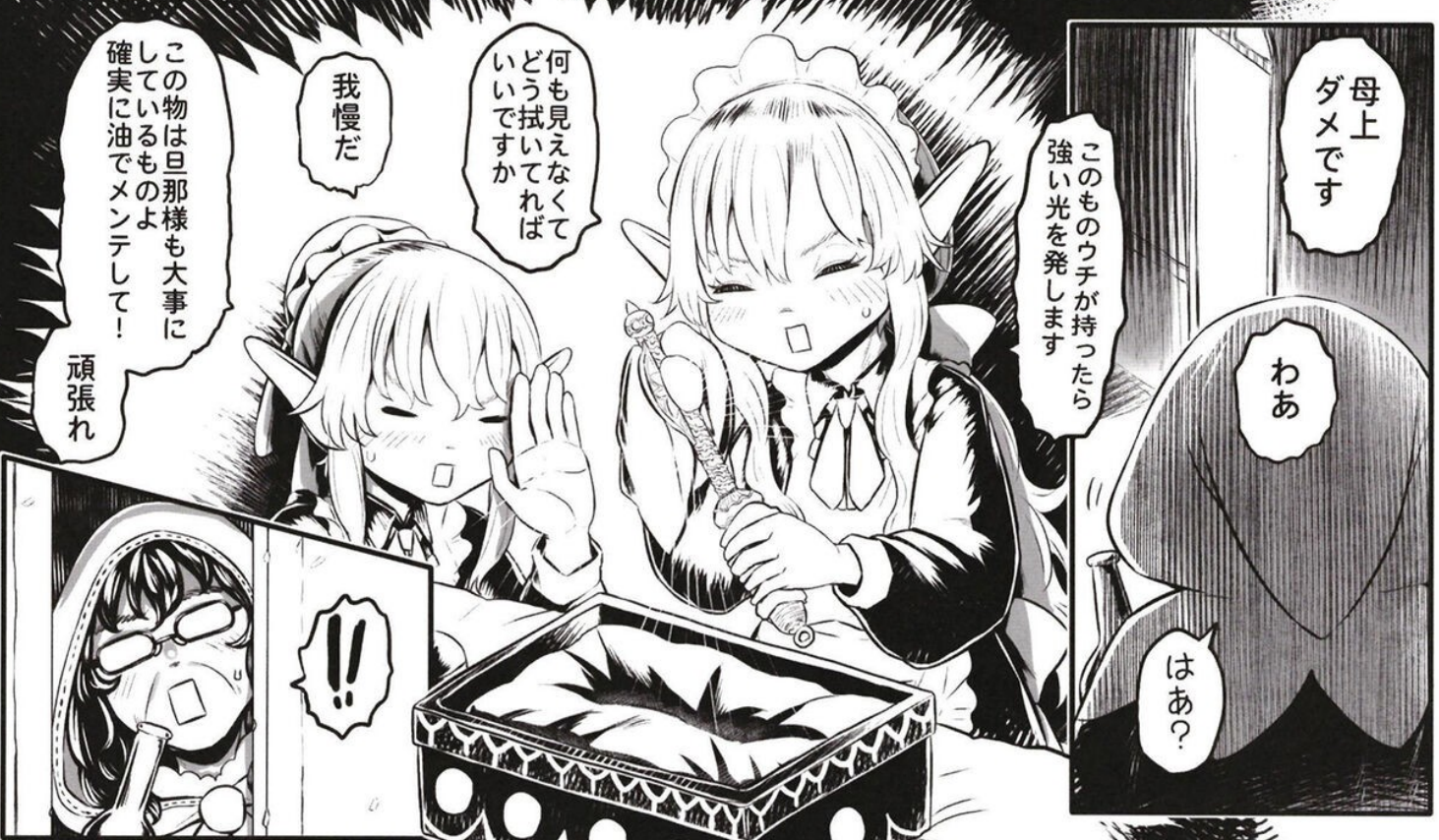
うおお……
ありがとうございます
ございます



まあ君が好きなら言う用がないが

昔我が国の貴族もエルフの血統を持つことに常に誇りを感じていた

こう考えると異族もそこまで受け入れられなくはない好きにしていぞ



母上ダメです

わあ

はあ？

このものウチが持ったら強い光を發します

何も見えなくてどう拭いてれば

我慢だ

この物は旦那様も大事にしているものよ
確実に油でメンテして！

頑張れ

!!

FREE TALKING

お買い上げありがとうございます。毒茸人です。
今回の内容は長い間考えてたオリジナルシリーズ
《愛玩幼奴ーレモン/ナススタチウム》の中編になります。
世代を超えて再び家族の主を仕えることになった長寿幼奴
と先代との間でできた隠し子の妹の組み合わせを試してみ
ました。お気に入りいただければ幸いです。
重ね重ねお買い上げありがとうございました。
毒茸人でした。

ページ数が足りないので本編の設定をここに書きます。

乱雑：古代の洞窟王国では、捕まえたを巨大で多頭の人造魔物に改造した。この王国はこれらの魔物によって提供される熱源を利用して金属を製錬した。しかし、その後コントロールができなくなり、巨大化し過ぎたヒドラが暴れ出し、洞窟王国の破滅を招く結果となった。

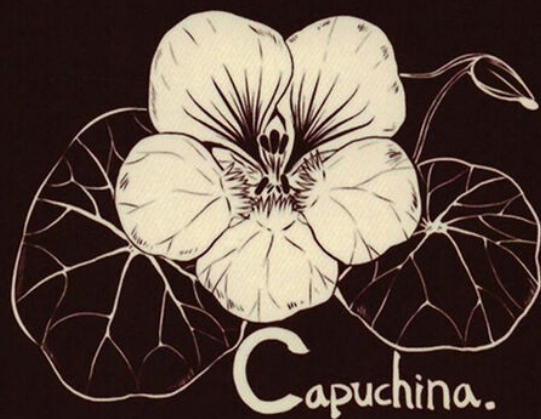
百年間、誰もがこれら全てを伝説だと考えていたが、山中から音が聞こえ始めたことで、事態は変わった……

英雄の血：伝説によれば、ヒドラを封印した英雄は、ラミダン王国の建国王となり、国境の貴族もその子孫とされている。英雄の血を引く子孫たちは再び山門を開き、ヒドラを討伐する運命にあるとされているが、誰もこの伝説を信じる者はいない。山門の鍵は長年にわたり国境の貴族の家族によって単なる工芸品として保管されておる。

兄弟：数十年前、国境の貴族たちは反乱を起こし、王都を攻撃した。国王は幼なじみであり、国境貴族の支族であるカルテラとカルロスの援助を受けて反乱を鎮圧した。その際、国王は伝説の魔物の存在と貴族たちが鍵を使えないことを知った。国王は裏でカルテラ女爵との間に子供をもうけ、その子が英雄の血を受け継いでいることを望んだ。カルロス伯爵は病弱で陰鬱な性格だが、彼はその子を自身の子のように育て、裏では何か計画を練っていると噂されている。その子が成人すれば国境大公爵として認められ、公爵は現国王の異母弟であることは貴族たちの間で公にはされていないが、密かな秘密として広まっている。

発行 有害菌類集会所
(有害菌類集会所)
毒茸人(香菇人(MIMIC))
PIXIV : id=357039
twitter : @MIMIT48648860
印刷:大陽出版株式会社
日本初版:C102(2023夏)

毒茸人
mimic
2023.8.



Capuchina.

